

にじのかけはし

令和5年3月
第14号
上海日本人学校虹橋校
片桐 里香

春天来了(春が来た)!



希望が丘小学校のみなさん 你好(ニーハオ)!

あっという間に3月を迎えました。それぞれの学年で総まとめに取り組んでいる事と思います。今年一年、みなさんはどんなところが成長しましたか?自分の成長をしっかりとふりかえり、自信をもって新しい学年に進級してほしいな、と思います。また、6年生・にじいろ学年のみなさんはいよいよ中学校進学ですね。ワクワクしているのでしょうか。それとも、ちょっぴりドキドキしているのでしょうか。平和劇を大成功させたみなさんです。ぜひ、胸を張って希望の丘を進んでほしいと願っています。

上海では、すでに桜の花が咲き始めています。

春天来了(チュン ティエン ライ ラ)=春が来た!

今回は、上海の春を紹介したいと思います。



上海日本人学校の春休み

実は、上海日本人学校虹橋校は、7日に卒業式、10日修了式が終わり、すでに春休みに入っています。なぜこんなに早く春休み？と思うことでしょう。

上海には、日本の企業がたくさん進出しています。そのため、たくさんの駐在員（上海に住んで会社のお仕事をしている人）が働いています。そして、家族そろって上海に来られる方がたくさんいらっしゃいます。その子どもたちが日本人学校に通ってきているのです。

日本は3月で学校や会社の仕事が終わりと、4月から新しい年度が始まりますよね。それに合わせて、駐在員のみなさんも帰国をしたり、新しい方が来られたりします。つまり、春は、子どもたちも先生方も日本に帰国する人が多いので、早く春休みがやってくる、というわけです。

一年の中で春休みが一番長く、約5週間あります。ちなみに、夏休みは3週間ほどで短いです。特に今年は、新型コロナの状況が落ち着き、ようやく中国に入国する許可（ビザという書類）がおり始めているため、駐在員の入れ替わりが多いと言われています。私の学級は、今年一年で10人のお友だちが日本に帰国し、6人が日本からやってきました。日本の学校では信じられない数の転校生ですよ。新年度も新しいお友だちがたくさん来ると聞いています。新しい出会いが楽しみです。

上海の春



上海市の花・白玉蘭=モクレン



学校の桜も一気に咲きました！

上海は、鹿児島県とほぼ同じ緯度にあります。ですから、長岡に比べるととても温かい気候です。特に今年は、冬がとても短く、寒い日が続きませんでした。3月に入ったとたん、気温が20度を超えたため、一気にいろんな花が咲き始めました。

上海市の花は「白玉蘭（バイ ユウ ラン）」。モクレンです。市の花ですから、街のあちこちに植えられていて、白や紫の花を咲かせています。上海の街には、プラタナス並木が多いのですが、冬は葉が全て落ちています。その寒々しい景色の中にこの花が咲き始めると、ああ春が来たんだなあ、と感じます。公園などにはたくさんの白玉蘭が植えられていて、それはそれは美しいです。日本だと桜の花が咲くと春を感じますよね。最近では、桜の花もあちこちに植えられていて、あと30年くらいすると上海の街にも新しい桜の名所が誕生しそうです。他にも梅や桃など、たくさんの花が咲き乱れ、一年で一番気持ちのよい季節を迎えています。長岡の春ももうすぐ！待ち遠しいですね。

にじいろ学年のみなさん。いよいよ卒業ですね。希望が丘を旅立つみなさんにこの言葉を送ります。

祝你一路顺风(ジュウ ニイ イー ルー シュン フォン)

～あなたの旅が順風満帆でありますように～

旅立つ人に送る中国のきまり言葉です。新しい旅が始まります。ぜひ、様々なことにチャレンジし、視野を広げ、自分のやりたいことにとことん取り組む人生の旅を力強く歩んでください。応援しています。